

● 令和8年度国土技術政策総合研究所夏期インターンシップ実施課題一覧(横須賀地区) (1/2)

R8.4.30現在

A. 個別分野コース: 河川、道路、住宅、港湾などの個別分野の研究について、講義、実習、研究業務の体験等を通じて理解を深めるコースです。

No.	実習課題名	実施目的	実施項目(案)	受入可能期間※	最大同時受入可能人数	担当研究部**
A-11	港湾・空港分野に関する調査・研究	港湾・空港分野の施設整備や計画策定、防災・減災やDXといった幅広い分野から、応募者の希望に応じて研究開発等を体験し、港湾・空港分野に関する理解を深める。	以下に示す研究テーマ(例)の中から、応募者の希望に応じて講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・港湾・空港分野の施設設計・計画に関する研究 ・港湾・空港分野のデジタルトランスフォーメーションに関する研究・取組 ・港湾の防災に関する研究 ・海洋環境(ブルーインフラ等)に関する研究	①~⑧	3名	管理調整部 港湾・沿岸海洋研究部 空港研究部 港湾情報化支援センター

※ ①7月27日(月)~7月31日(金) ②8月3日(月)~8月7日(金) ③8月17日(月)~8月21日(金) ④8月24日(月)~8月28日(金) ⑤8月31日(月)~9月4日(金) ⑥9月7日(月)~9月11日(金) ⑦令和8年9月14日(月)~9月18日(金) ⑧9月24日(木)~9月30日(水)

** 担当研究部に関する情報は、右記のWebページからご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/index.html#division>

● 令和8年度国土技術政策総合研究所夏期インターンシップ実施課題一覧(横須賀地区) (2/2)

R8.4.30現在

C. 専門スキル活用コース: 大学などでの研究で培ってきた専門スキルを活用して、より専門的な調査研究業務に従事するコースです。

No.	実習課題名	実施目的	実施項目(案)	受入可能期間※	最大同時受入可能人数	求める知識・スキル	担当研究室**
C-11	沿岸域の環境改善や自然再生についての調査研究	本課題では、港や沿岸域における環境に関する研究において、実施項目(案)示す様な内容を学び・検討を行うことにより、港や沿岸域における生物や環境改善手法、自然再生に関する専門的知見を深めるとともに、地球温暖化緩和策やネイチャーポジティブ等の社会課題の解決に対して考える能力の向上を図る。	(1) 港の中の生物の生育環境 港湾構造物(防波堤や護岸、消波ブロックなど)を生物の生育基盤として有効に活用している事例を学ぶ。 (2) 内湾に生息する生物 東京湾等の生物標本を分析してデータを整理・把握し、内湾の生物多様性について学ぶ。 (3) 港における地球温暖化緩和策 ブルーカーボン等の港における地球温暖化緩和策および浚渫土砂の有効利用の事例について学ぶ。 上記3項目のうち1項目を想定しているが、本人の希望および当研究室の受入時状況を踏まえ、当研究室の研究テーマから実習項目を最終的に決定する。	①~⑧	1名	特になし	港湾・沿岸海洋研究部 海洋環境・危機管理研究室
C-12	港湾における被災リスク評価に関する調査・研究	本課題では、港湾における津波や高潮・高波による被災リスクに関する研究において、作用の確率評価、施設被害の確率評価などの検討を行うことにより、被害想定などに関する専門的知見を深めるとともに、数値解析やデータ分析などに関する能力の向上を図る。	(1) 気候変動を踏まえた津波・高潮・波浪の確率評価 ●気候変動の影響を考慮した津波や高潮・波浪によるリスクの確率評価を検討する。 (2) 港湾施設の津波被害評価 ●港湾施設の津波被害実績データを用いて、津波高等に応じた被害確率を評価する関数(フラジリティ曲線)を算定する。 (3) コンテナの耐風対策・漂流対策 ●コンテナを対象とした模型実験の結果を用いて、コンテナの耐風対策・漂流対策に必要なデータを解析する。 上記3テーマのうち1テーマを想定しているが、本人の希望を踏まえ、当研究室の研究テーマから実習テーマを最終的に決定する。	①~⑧	2名	特になし	港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室
C-13	空港舗装の非破壊調査法に関する研究	本課題では、空港舗装の非破壊調査法に関する研究において、屋外試験舗装フィールドにおける現地調査、又は、空港舗装で取得した調査データの分析を行うことにより、舗装の非破壊調査法に関する専門的知見を深めるとともに、データ分析や数値解析などに関する能力の向上を図る。	(1) 電磁波レーダによる空港舗装の非破壊劣化検出法の研究 ハンディ型電磁波レーダを用いて、空港舗装の劣化を再現した屋外試験フィールド等で現地調査を行い、取得した波形データを分析する。 (2) FWDによる空港舗装の支持力評価法の研究 全国の空港舗装で実施された重錘落下式たわみ測定装置(FWD)による非破壊調査結果を整理するとともに、舗装構造解析プログラムを用いてたわみデータを分析する。 上記2テーマのうち1テーマを想定しているが、本人の希望を踏まえ、当研究室の研究テーマから実習テーマを最終的に決定する。	②③、 ⑥~⑧	1名	特になし	空港研究部 空港施設研究室
C-14	港湾工事の自動化・脱炭素化に関する調査研究	港湾工事の自動化・脱炭素化に向けて、浚渫船の施工シミュレータやCO2排出量の算定ツールの開発を進めている。本課題では、施工シミュレータやCO2排出量算定ツールを様々な施工条件へ適用することにより、港湾工事に関する専門的知見を深めるとともに、自動化・脱炭素化の技術的検討に関する能力の向上を図る。	(1) 浚渫船の施工シミュレータを利用したクレーン作業の自動化に関する分析 (2) CO2排出量算定ツールを利用した港湾工事におけるCO2排出量削減に関する分析 (3) 分析結果のとりまとめ (4) 成果発表 ※応募者の希望をふまえ、上記(1)・(2)のどちらか一つのみを実施することも可	①~⑧	1名	特になし	港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室

※①7月27日(月)~7月31日(金) ②8月3日(月)~8月7日(金) ③8月17日(月)~8月21日(金) ④8月24日(月)~8月28日(金) ⑤8月31日(月)~9月4日(金) ⑥9月7日(月)~9月11日(金) ⑦令和8年9月14日(月)~9月18日(金) ⑧9月24日(木)~9月30日(水)

** 担当研究室に関する情報は、右記のWebページからご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/index.html#division>